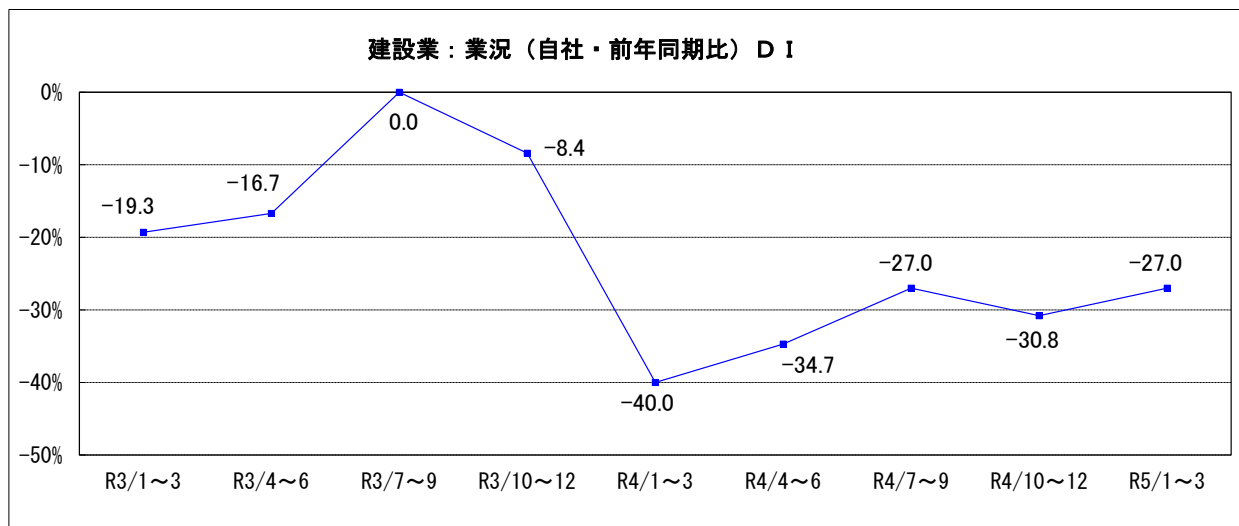


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

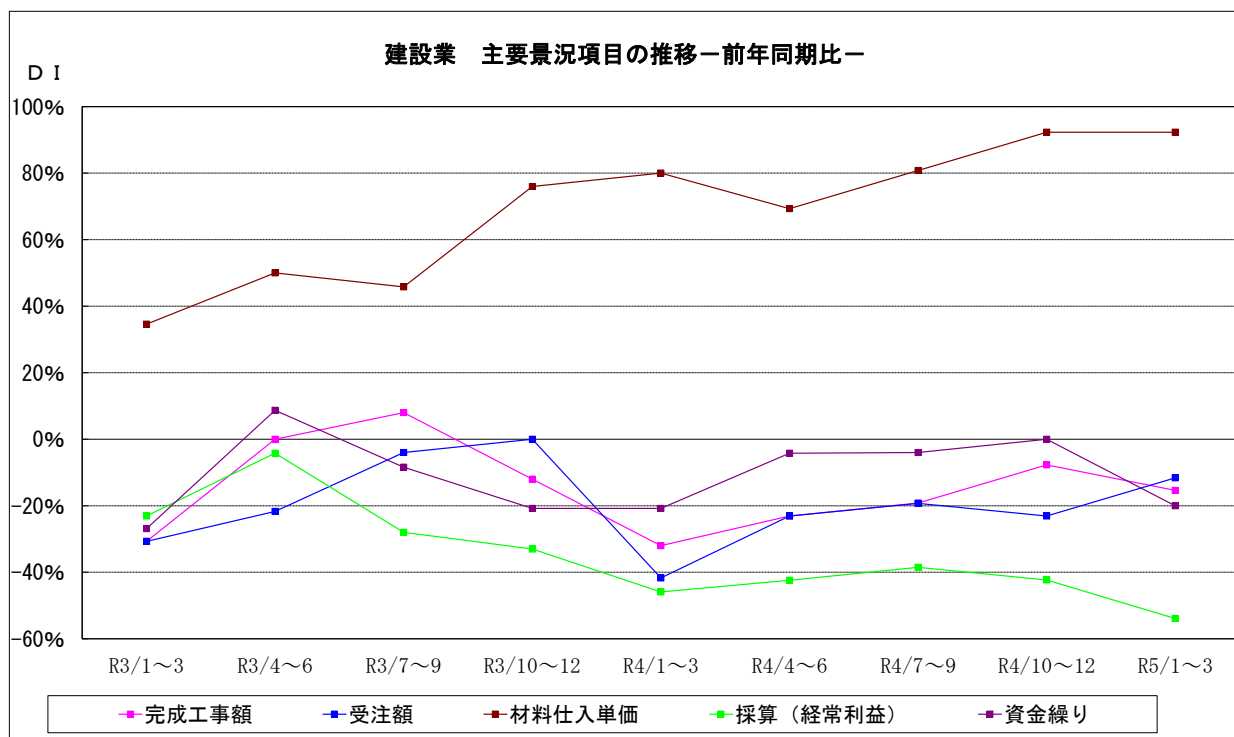
今期の業況DI値は-27.0。前期の-30.8から3.8ポイント上昇した。

来期の見通しは-27.0の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

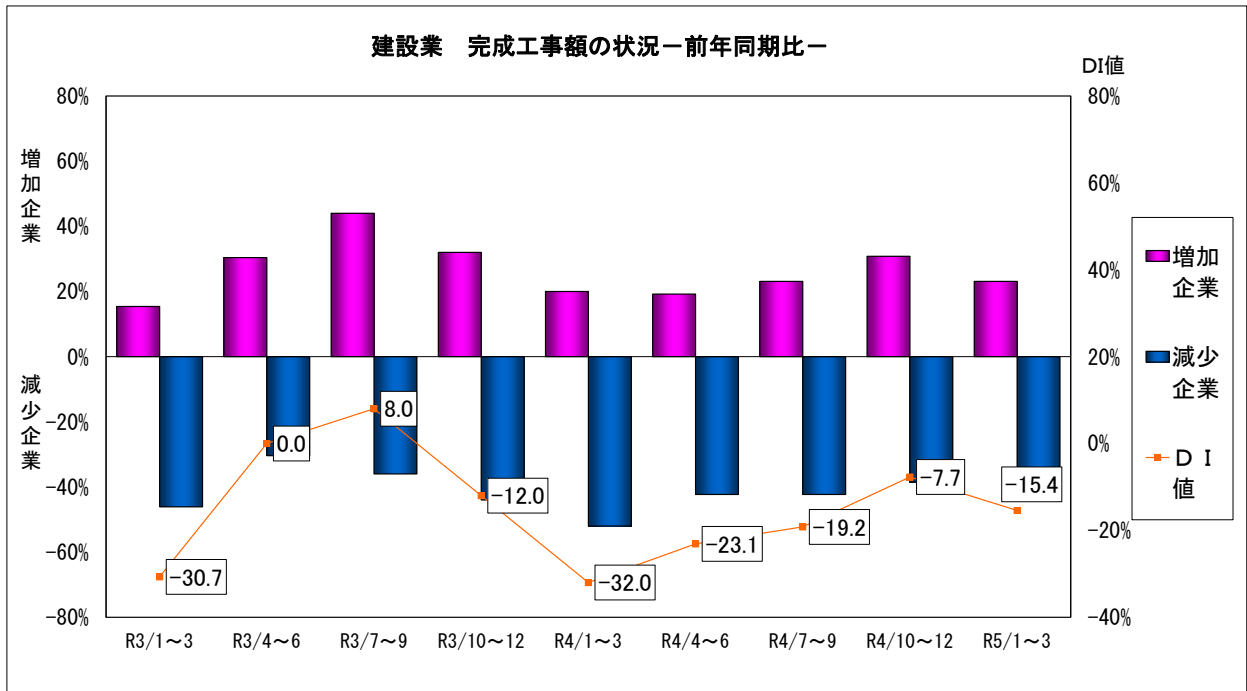
	前々期 (R4年7月~9月)	前期(A) (R4年10月~12月)	今期(B) (R5年1月~3月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-19.2	-7.7	-15.4	-7.7	-15.4
受注額	-19.3	-23.1	-11.6	11.5	-23.1
材料仕入単価	80.8	92.3	92.3	0.0	73.1
採算（経常利益）	-38.5	-42.3	-53.9	-11.6	-23.1
資金繰り	-4.0	0.0	-20.0	-20.0	-12.0



(2) 主要項目の概況

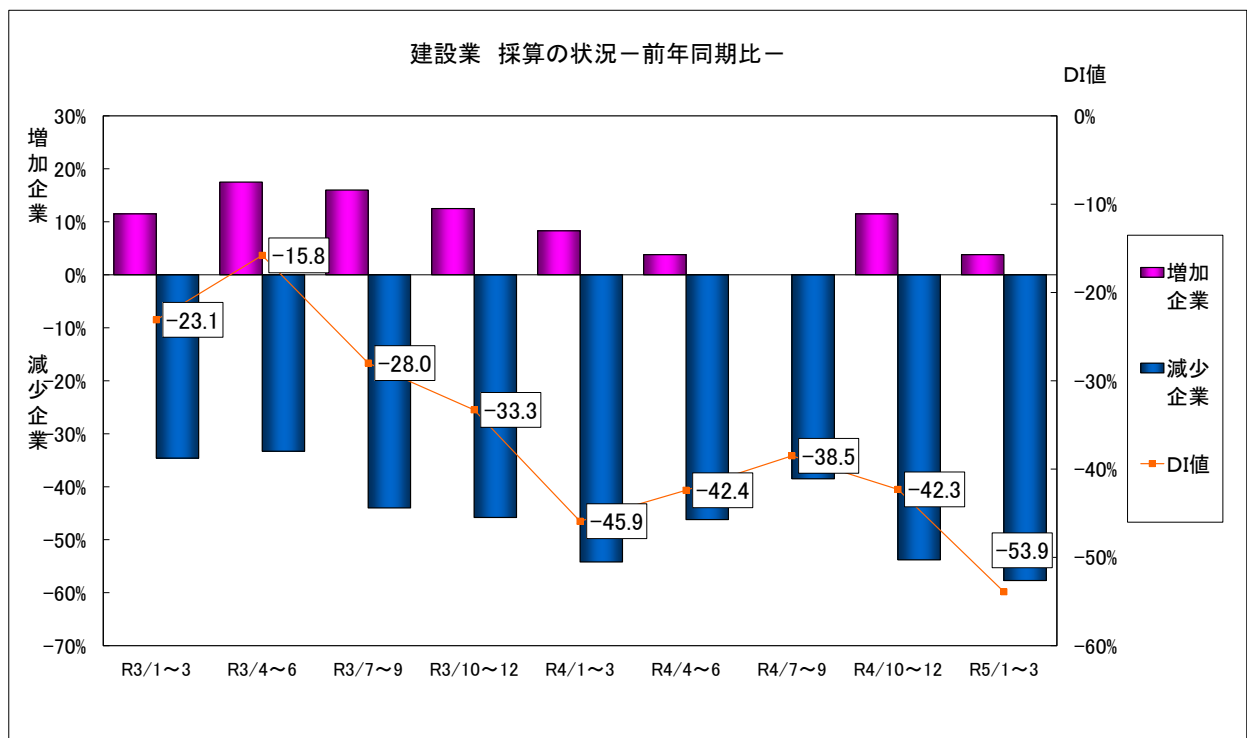
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-15.4。前期-7.7から-7.7ポイント低下した。
来季の見通しは-15.4の予想である。



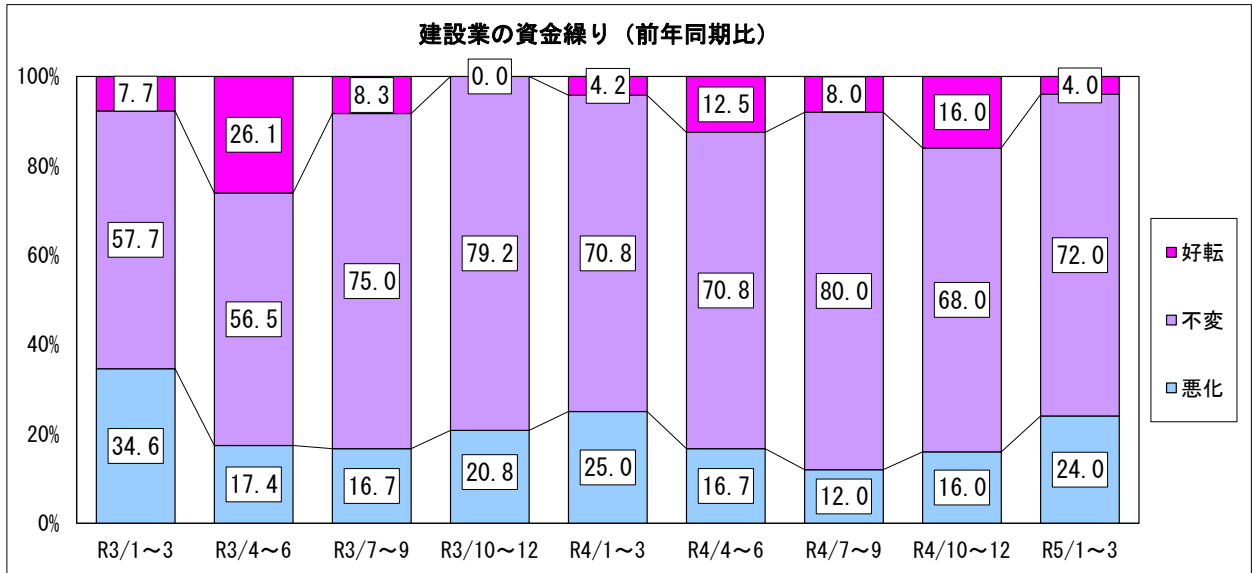
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-53.9。前期の-42.3から-11.6ポイント低下した。
来季の見通しは-23.1の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は-20.0。前期の0.0から-20.0ポイント低下した。
来季の見通しは-12.0の予想である。

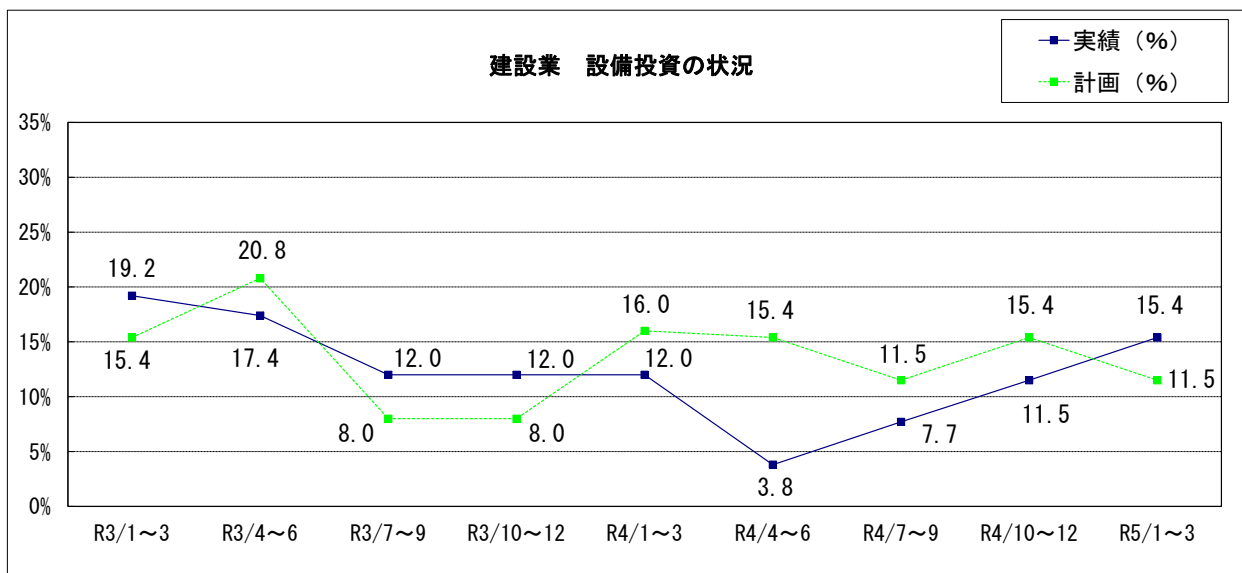


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	3	0	0	0	3	0	0	0	0	23
（%）	11.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5
今期実施（実数）	4	0	0	1	4	0	0	0	0	22
（%）	15.4	0.0	0.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6
来期計画（実数）	3	0	1	1	2	0	0	1	0	23
（%）	11.5	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	88.5

今期設備投資を実施した企業は4社（15.4%）前期（令和4年10月～12月）の実施企業3社（11.5%）
来期は3社（11.5%）が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期72.0%→今期62.5%)
- ・「材料の入手難」 (前期28.0%→今期29.2%)
- ・「従業員の確保難」 (前期20.0%→今期25.0%) となっている。

